

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和6年度第6回理事会報告

- 日 時：令和6年7月11日(木) 14:05—17:25
- 場 所：JSOSビル3F会議室3
- 出席者：蛭田会長、古賀・吉田各副会長、小野寺専務理事、町田・野村・赤尾各常務理事、小高・栗田・小田部・佐藤・島田・杉本・中島・中橋（途中離席）・西谷・畑中・濱田（途中離席）・樋口・平田・前田・望月各理事 以上22名
佐久間監事、古屋監事 以上2名
- 欠 席：安井理事
- 同席者：担当営業（マーケティングパートナー）

1. 開 会

2. 蛭田会長からの挨拶

6月23日の定時総会をへて、最初の理事会を開くことができた。今後、理事会で決めていくことがいくつかある。また、スポンサー様からの期待も大きく、メダルを取り、JMCAとともに、一緒こもりあげたいという声を聞いている。自分も、スポンサーへ報告できるように、オリンピックにも参加するように判断した。また、懸案の財政の安定化と、新しい収益の確保についても、施策を進めていきたいと思っている。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時23名中20名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超))
監事数 2名出席

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

8月8日は、予定どおり次回理事会を設定するということになった。

議案第1号：議事録の承認について(前回第5回の議事録について承認済)

議案第2号：マーケティングパートナーからの挨拶及び、契約について

担当営業が、会社紹介、JMCAに対するサポート及び組織体制、来期からの契約案について説明し、質疑応答があった。

議案第3号 役員担当(登山部等)について

古賀副会長、野村登山部長が、画面上の情報を基に、以下の理事、常任委員の変更の説明をした。

1. UIAA資格委員会 中島理事が担当理事に加わった。
2. 登山普及委員会 望月理事から前田理事に主管理事が変わった。

3. 登山普及委員会 湯浅誠二氏が常任委員になった。
4. 自然保護委員会 阿部幸子氏が専門委員から常任委員になった。
5. 登山医科学委員会 中島理事が担当理事に加わった。
6. 登山医科学委員会 三浦裕氏が常任委員から専門委員になった。

その後、採決をとり、以下のように異議なく承認された。

反対 ゼロ、 棄権 ゼロ、 賛成 21名
(第2号議案から栗田理事が参加している。)

議案第4号 月報のデジタル化、理事会報告について

月報のデジタル化について

赤尾事務局長が、月報のデジタル化について素案を説明し、岳連の要望を集約（アンケートによる）したうえで、改善をできるところから進めたい旨の説明があった。

その後、質疑応答をへて、アンケートの内容を一部追加変更し、実態を把握することが重要。CC（コーポレートコミュニケーション）委員会が、アンケート内容を吟味し、その後、理事会メンバーから了解をもらった上で、アンケートを実施することになった。併せて、当改善を行うことで、いくらくらい削減できるか、見積りを出す。

理事会報告の伝達について

赤尾事務局長が、現状の所用期間（理事会後2-3か月かかっている）と、改善後のリードタイム案（3週間くらい）を提示した。その後以下の質疑応答があった。

現状の問題について

1. JMCAが何をやっているのかを知りたい。現行議事録の中身をそのまま正会員に伝達してほしい（理事と同様の理解をしたい）という要求が出ている。
2. 理事会終了後2-3か月後に月報で見ている内容をもっと早く提供してほしい。 という2つが要望としてある。

上記についての意見

- 議事録を正会員に送付し、質問があり、回答するのに事務局の負担が大きいならば、加盟団体振興PTのメンバーから回答するという方法もある。
- 議事録を、正会員にそのまま送付するのではなく、わかりやすく編集し提出した方がよいのではないか。
- 現在行っているまとめ（理事会議事録、理事会報告）の内容を、とにかく早く届けられるようにする（月報発行をまたず、メールにファイルを添付するなど）方法を考えたらどうか。

問題は何か、1, 2の両方の問題を満たすのか、2だけでよいのかの問題の整理と、対応案を整理したうえで、次回に判断をもちこすこととなった。

議案第5号 総会懸案事項（2022年度理事全体の責任問題）について

蛭田会長が、定時総会で、正会員の方から問題提示され（懲罰委員会、倫理規程、処分規程等に基づく処分など）、理事会として対応する旨返答したことを説明した。処分規程では、別表に該当しないので、対象外として判断した（監事、ガバナンス委員会も同様の判断）が、組織の問題として、再発防止のためのけじめをつける方法を検討する必要がある。

今回、今後の進め方を含めた素案等特にないので、継続審議事項として検討することとし、次回に持ち越した。

議案第6号 海外登山奨励金について

小野寺専務理事が、配布資料をもとに3隊が評価され、総額80万円を出す提案をした。

反対ゼロ 棄権ゼロ 賛成21名で 異議なく承認された。

議案第7号 雪崩災害防止功労者の推薦について

小野寺専務理事が、配布資料を基に説明し、今期は、推薦対象者なしという提案をした。

反対ゼロ 棄権ゼロ 賛成21名で 異議なく承認された。

議案第8号 基金第2期募集について

望月理事が、画面上に素案を提示し、9月30日しめきり、10月理事会で割り当て、10月末までに振込の日程案を説明し、

反対 ゼロ 棄権 ゼロ 賛成 21名 で異議なく承認された。

16:25 - 16:35 (休憩)

7. 報告

報告第1号 月次報告、キャッシュフローについて

赤尾事務局長が、画面から説明した。4月時点での予算執行割合は23%で現状だと11月ぐらいから要注意となる。8月以降に補正予算を加味した再計算が必要になる（SC強化、収益見込み等）。

報告第2号 アジア山岳連盟30周年事業進捗について

海外から73名参加、日本国内を含め200人弱が祝賀会参加見込み。

報告第3号 4団体懇談会について

小野寺専務理事が現状の説明をした。10/17 に行う予定。

報告第4号 指導員認定について、今回は対象なし

報告第5号 自然保護憲章50周年記念シンポジウム協力依頼について

自然保護委員会に情報を提供し、検討している。

以下の第6号から第9号は常務理事会で承認済なので、小野寺専務理事が配布資料を読んでおくように伝達した。

報告第6号 クライミングユース世界選手権2024選手派遣について

報告第7号 2025年からのカテゴリー編成について

報告第8号 日新火災西条クライミング体験会について

古賀副会長がJMSCAを代表して参加予定。

報告第9号 アスリートパスウェイ事業謝金について

報告第10号 役員派遣は配布資料のとおりなので各自見ておくように伝達された。

8. その他

望月常務理事が、補正予算の策定方針、調査票を提示するとともに、8月8日理事会、9月度財務委員会、9月に数字確定という大枠日程の説明をした。SC競技、強化の数値により影響がでることを補足した。

亡くなられた大西氏の状況につき、7月24日日本着予定。長山協、高体連と協議してJMSCAはどうか確認が必要。

古屋監事が、以下の懸念事項を提言し、理事会としてどう考えるか検討してほしい旨伝えた。

弁護士不在状況における運営、報酬支払の要否、役員選考規程、組織管理運営規程（古賀副会長素案作成予定）、予算管理規程等の見直し、JMSCAビジョンを体系化し戦略、戦術を考える必要性、倫理、処分規程の整備、資金ショート時の対応等

記録 赤尾 浩一

以 上